



開倫ユネスコ協会  
NewsLetter

第77号  
足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915  
発行者 林 明夫 2013年5月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

開倫ユネスコ協会総会

2013年4月23日(火)、足利市民会館において、第13回開倫ユネスコ協会総会が行われました。ユネスコの歌を合唱したあと、中谷副会長より主催者代表挨拶がありました。続いて、津久井副会長が議長となり総会の議事が進みました。議事の中で、2012年度の開倫ユネスコ協会活動報告、決算報告等が鈴木副会長より行われました。また、2013年度の活動計画や予算書に関する提案が中谷副会長よりなされました。それぞれが拍手をもって承認となりました。続いて、役員選出についての審議もあり、会場に集まった会員から承認され、無事閉会となりました。

今年度も、書きそんじはがきを集めて世界寺子屋運動へ協力させて頂くとともに、東日本大震災への寄付金を募り、被災地の方々への支援ができればと思います。

また、ポエム大賞、エッセイ大賞、童話大賞、デザイン大賞などの各種コンクールや平和の鐘を鳴らそう運動、第14回KAIRIN杯ドッジボール選手権大会などを通して、多くの人々とともに活動していきたいと思ひます。

今後とも、皆様からのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



司会：津久井一則副会長



中谷克信副会長



鈴木一昭副会長



会場の様子

## 第 14 回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会

4月29日、アリーナたぬま・佐野市運動公園の2カ所におきまして、「第14回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会」が行われました。

朝から会場に集い、準備体操に余念がなく身体を動かし、輪になって練習をしていました。その元気な姿に圧倒されます。今年のエントリーは63チーム、選手の皆さん、保護者の皆さん、審判員・スタッフで総勢2500人を超えており、その応援の姿は、手に汗握るものがありました。

昨年に引き続き、小学生男女混合の部、小学生女子の部、ジュニアの部、中学生の部の4つの部門で白熱した試合が行われました。決勝戦では手に汗に握るすばらしい接戦が繰り広げられ、応援席も大変に盛り上がりました。

とても有意義な大会ができ、ひとえに皆様の御支援、御協力の賜と感謝申し上げます。また、参加チームの監督および保護者、選手の方々には、ユネスコの「世界寺子屋運動」への協力として書き損じはがき(243枚)や募金(12,823円)をお預かり致しました。当協会から日本ユネスコ協会連盟へ責任をもってお届けさせていただきます。ありがとうございました。

### ～第14回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会 試合結果～

＜男女混合＞	優勝	鳥川ライジングファルコン	(福島県)
	準優勝	吉田☆ラッキースターズ	(茨城県)
＜ジュニア＞	優勝	バイオレンス国田 Jr	(茨城県)
	準優勝	吉田☆ラッキースターズ Jr	(茨城県)
＜女子＞	優勝	川内ファイターズ	(群馬県)
	準優勝	久野ストロベリーズ	(栃木県)
＜中学生＞	優勝	つくばブレイズ J9	(茨城県)
	準優勝	白二ビクトリー☆Z	(福島県)



開会式の様子 (アリーナたぬま)



トスで試合開始!



白熱した試合

このドッジボール大会のご来賓として、NPO法人 栃木県車椅子の会 村上八郎会長が参加されました。毎年参加していただきありがとうございます。

村上会長より車椅子の会「会報」(第33号、5月1日発行)を頂きましたので、その一部をご紹介します。

車椅子の会は、事故や病気で突然車椅子生活となった障害者の自立と日常生活や社会参加の支援を行うと共にバリアフリー情報調査などを行っている団体です。

障害者自立支援法に代わる法律として「障害者総合支援法」が平成25年4月から施行されたことや改正点などについて詳細に記載されています。